



クイズまがいらざび

2枚の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてね。全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードをプレゼントします。



秘書広報課 ☎ 66♦1145

応募方法

ハガキまたはファクスに①答え(左の絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想(意見など)を書いて秘書広報課(〒443-8600) FAX 66♦1190へ。当選者と答えは、広報がまごおり8月号に掲載します。

学校のふしぎ話

『ある小学校のミツバチ』

学校には2つの顔があります。1つはエネルギーにあふれる明るい昼の顔。もう1つは、誰も知らない夜の顔。蒲郡にはこの2つの顔を見ることのできる不思議なみかん仙人がいるそうです。

ひと昔も前のこと、桜も終わって、学校のダイチョウの木に黒い雲が見える。ミツバチの大群が飛んでいるのだ。その後いったん枝の付け根の下部に楕円状にとまり、しばらくして次の場所へ移動していった。ダイチョウの木には、新しい女王蜂と一年生ミツバチたちが巣を作り、この学校で暮らし始めた。

ミツバチは忙しく働きながら子どもたちの話をきいているようだ。子どもE「宮金次郎さんの薪が一本足りん！」子どもF「また？ 不思議だよねえ」ミツバチたちは学校を飛び回って薪を見つけると、「二宮金次郎さんに知らせに行った。次の日」

子どもE「薪がもどつとる！」子どもF「へーやっぱり、不思議だよねえ。」梅雨入り間近のムシ暑いある日、子どもA「よいしょ、重いなあ、この荷物を体育館まで運ばんとあかんだけど、地下通路の階段がきついなあ」子どもB「Aちゃん一緒に運んであげらあ」子どもC・D「おーい、ぼくたちもやっただけらあ、階段はあぶないで」

そう言つと、汗びっしょりになって、みんなで荷物を運んでくれた。体育館のタンポポから蜜を集めたミツバチが、暑くてワタワタになって巣に戻ると、みんなが一緒に羽根をバタバタして巣の中を涼しくしてくれていた。そこにみかん仙人と女王蜂がニコニコして座っている。みかん仙人が、子どもたちもミツバチたちも見事じやのう。それにしても女王蜂さま、このミツバチは、子どもたちから聞いた話でブンブン盛り上がったのう。いつも聞いてるだかん？」

ブンブン♥

◆4月号「ある小学校のウサギ」の答え
「うさりんかいぎ」

4月号当選者 応募総数 21通 正解者19人(50音順・敬称略)
市川 美子(中央本町) 尾崎 周子(八百富町) 加藤 りく子(神ノ郷町) 佐藤 ひろみ(三谷北通) 水藤 磨知(三谷町)
鈴木 正敏(西浦町) 中川 智景(竹谷町) 伴 久彦(清田町) 牧野安展(金平町) 松山 加奈子(形原町)